

福井県教員育成指標(たたき台)に係る御意見

※その他、各項目ごとの指標の文言に係る御意見については、修正案に反映。

No.	項目	指摘内容	団体
1	全体	福井型18年教育の具現化としての幼児教育の記述がほとんどみられないようにも感じる(一部の研修以外には)。先に小～高校を固めて、あとから幼児教育をそれに合わせるのか、あるいは幼児教育も最初から組み込むのか、いずれが福井型18年教育にふさわしい作成手順か。	仁大
2	全体	他県教委にも理解・共鳴いただけるような、長いスパンで通用するものをぜひ作成いただきたい。文言の修正案は、他県の教委や教員にも無理なく理解できる文言や表現を使うことを念頭にくとよい。	福大
3	全体	育成指標は、今後の福井県の教員養成・採用・研修の重要な方向性と指針になることだろう。したがって、教員としての態度や資質に関する記述は、現在国や文科省レベルで一定の合意や認知を得ている教員観・教育観を反映する文言を加えるとよい。	福大
4	全体	理念や考え方が示されている部分が多く、抽象的な指標になっているように思う。具体的に何ができればよいのかを示せるとよい。	都市
5	資質・能力 素養	全体を通して「知・情・意」のうちの「情・意」が大半で「知」についての記述が極端に少ないのが第一印象。誤解を与えないか。	仁大
6	資質・能力 素養	論理的思考や科学的思考(理学的思考に特定してはいない)は、職業上、非常に重要だと思われるが、指標に位置づけることは必要ないか。	仁大
7	資質・能力 素養	第1ステージから第3ステージまでそれぞれに設定されているが、加算的に項目が増える方が現実的かとらえ方か。一方で、「素養」は文字通り素養であって、ステージごとに高まっていくのではなく全ステージに通底するものという接近法もあるのではないか。	仁大
8	資質・能力 素養 学び続ける力 探究心	採用段階の「学び」の文言を整理 「学びの専門家」の「学び」は「子どもの学びを支援する専門家」の意味に捉えたが、「学び続ける」の「学び」は教員が主語になると思われる。	県特支
9	資質・能力 素養 学び続ける力 探究心	「学びの専門家」という表現について。「教える専門家」ではなく「学びの専門家」とする新しい表現の視点は、大学サイドとしてはありがたい表現になっている。ただし、確認のため、もう少し丁寧な説明が必要か。	仁大
10	資質・能力 指導力	第1ステージから第3ステージまでそれぞれに設定されていますが、加算的に項目が増える方が現実的か。	仁大
11	資質・能力 指導力	採用時の姿の小学校で「英語を指導できる力」の記載はいらぬ。他教科も同じことである。	都市
12	資質・能力 指導力	ICTに関する記載は第1ステージだけでよいのだろうか。	都市
13	資質・能力 指導力	道徳に関する記載が必要ではないか。	都市
14	資質・能力 指導力 教科の専門性	幼児の5領域(新指導要領)は、教科となる小学校以降の総合的な学びにつながるもので、福井型18年教育の接続性・連続性の出発段階としてこの表に文字を新たに明記することは不自然ではないのではないか。	仁大
15	資質・能力 指導力 授業力	「授業力」は、確かに経験を積み重ねながら力が付いていく一方で、マンネリを招く一面もある。第2、第3ステージを見ると、経験豊かな先生が若手を助言する立場であるように見えるが、新しい発想での取組とか挑戦は意外に若手教員からもたらされることもある。その意味で、中堅やベテランが若手から学ぶ部分もあるのでしょうか、次の欄に「世代を超えて授業を見合い、共に高め合う」とあるのはいい表現である。	仁大
16	資質・能力 指導力 特別な配慮への対応	ユニバーサルデザインやキャリア教育の視点はステージ全体に必要ではないか。	都市
17	資質・能力 指導力 特別な配慮への対応	新採用時または2～3年目には学級担任をして特別な配慮を実際に行う立場になる現状を考えると、「現状と課題の理解」や「ユニバーサルデザインの観点を持つ」という指標は、採用時の姿であることが妥当である。ステージに位置づけるもう一歩踏み込んだ指標を検討してはどうか。	県特支
18	資質・能力 指導力 特別な配慮への対応	近年は、外国籍児童や帰国子女への対応、貧困家庭、医療的ケア児など幅広い概念となってきている。	仁大
19	資質・能力 指導力 福井の教育力を支える研究・連携	「小学校で英語を指導できる力を身につけている」というのは、福井に限ることではない。福井独自を大きく強調するか、そうでなければ別の位置に移動するか、いずれにせよもう少し追加説明があると大学サイドとしてはありがたい。	仁大
20	資質・能力 マネジメント・人材育成	採用時の姿として学校ボランティアや学校インターンが示されているが、単位化レベルでの学校への介入を想定しているか。あるいは、通例のボランティア申告での把握を考えているか。また、多くの大学の学生によっては、学校以外として病院や施設のボランティアに熱心なケースもあるが、これはどうか。大学サイドとしては、もう少し定義について詳しい説明あるとよい。	仁大
21	資質・能力 マネジメント・人材育成 学校安全危機管理	「交通安全」は分類上で「学校安全」に含まれないように聞いている。人命尊重の立場から、加えてもよいか。	仁大
22	その他	小学校の若手教員の多い学校では、中堅教員研修を受講しなければならない教員の人数も多い。近年、採用教員数が増えたことに加え、新免許、旧免許所有者も混在しており、研修のための出張が多くなることを懸念している。	県小

※都市教育長協議会、町教育長会、福井大学教育学部、福井大学教職大学院、仁愛大学人間生活学部、
県小学校校長会、県中学校校長会、県高等学校校長会、県特別支援学校校長会、県PTA連合会、県高等学校PTA連合会